

## 国立病院機構岩国医療センター 循環器内科

# 循環器内科UPDATE VOL.3-2

〒740-8510 岩国市愛宕町1-1-1 TEL 0827-34-1000 (代) FAX 0827-35-5600

## 高度な血管内治療を提供します！-DSAをUPDATE-

### 循環器内科UPDATE

#### Vol3-2 (2023晩秋)

ずいぶんお久しぶりになってしまいました。世の中はポストコロナ時代です。我々も常にupdateを心がけていきます。責任編集：片山

### DSAのUPDATE

今回は血管内治療の話題です。

「高度な血管内治療を提供します！-DSAをupdate-」

循環器内科 川本健治

「シャントPTA治療UPDATE-これまでとこれから-」

循環器内科 赤井弘明、松尾啓太

**血**管内治療担当の川本健治です。今回、血管内治療を行う上で、必須である「**DSA血管撮影装置**」が更新されたことを報告させていただきます。

DSAとは「**Digital Subtraction Angiography**」の略であり、頭頸部、胸部、腹部、四肢の血管内治療に必要な血管撮影装置です。血管造影のクオリティは、診断をつける、治療を行うときに、とても重要となってまいります（4Kテレビはきれいで、見やすいですね）。

旧病院から移設し、長年使用していた血管造影装置がいよいよ老朽化したため、2023年9月25日に、Phillip社製（本社オランダ）の**Azurion ClarityIQ (Azurion7 B20/15)** という最新の血管造影装置が導入されました。最新技術によって、**画質が飛躍的に向上し、さらに、放射線被ばくも大幅に軽減**されました。

造影検査や血管内治療を行う際に血管をみるためには、放射線は必要ですが、放射線が多いと、いろいろ心配です。そんな中で、今回の大幅な放射線被ばく軽減は、**患者様**はもちろんですが、日々、血管内治療に携わっている**医療スタッフ**にも重要であり、**安全面**でとても喜ばしいことです。

ソフトウェアも更新され、例えば、「**Diluted Contrast DSA**」というモードが使用可能となりました。これは、**造影剤を10倍に希釈して撮影**が可能というもので、造影剤使用量をかなり減量することが可能となりました。透析を回避したい腎不全患者様には朗報となります



Azurion ClarityIQ (Azurion7 B20/15) 血管撮影装置

(造影剤は腎不全によくありませんので)。

岩国医療センターの**血管内治療チーム**は、これからも、血管内治療が必要な患者様に**安全安心でハートフルな最新治療**を提供してまいります。

(岩国医療センター 循環器内科医長《血管内治療担当》川本健治)



治療時の話し合いの風景

さまざまなアプリケーションをタッチパネルで操作できます

## シャントPTA治療UPDATE-これまでとこれから-



シャント治療担当医の赤井弘明です。

当院では**シャント不全**の患者様に対してカテーテル治療（**シャントPTA治療**）を積極的に行っております。以前の循環器内科UPDATE（2022年春号）では、当院のシャントPTA治療の特徴として2つをご紹介しました。

①薬剤を血管に塗る最新治療：**ドラッグコーティングバルーン**については、1年後開存率67.2%（通常バルーン43.4%）と良好でした（日本の報告）。



②治療時の疼痛軽減：**筋皮神経ブロック**については、ブロックを受けられた患者様から「疼痛がかなり軽減」とのお声を多数いただいています。さらにより良い治療を行ってまいりたいと考えています。

さて、令和6年3月末で赤井弘明が当院から異動となるため、**松尾啓太**が新シャント治療担当医となります。

《シャント治療担当医 赤井弘明》

「当院に赴任してから約4年が経ちました。岩国で**約110件**の**シャント治療**を行いました。これからは後任の松尾先生が岩国のシャントの未来を支えてくれます。今まで岩国の皆様には大変お世話になりました。」

《新シャント治療担当医 松尾啓太》



「**赤井のもと研鑽を積んで**参りました。シャントのトラブルがありましたらいつでもご相談ください。これから岩国の皆様の支えになるよう頑張りますのでよろしく願いたします。」